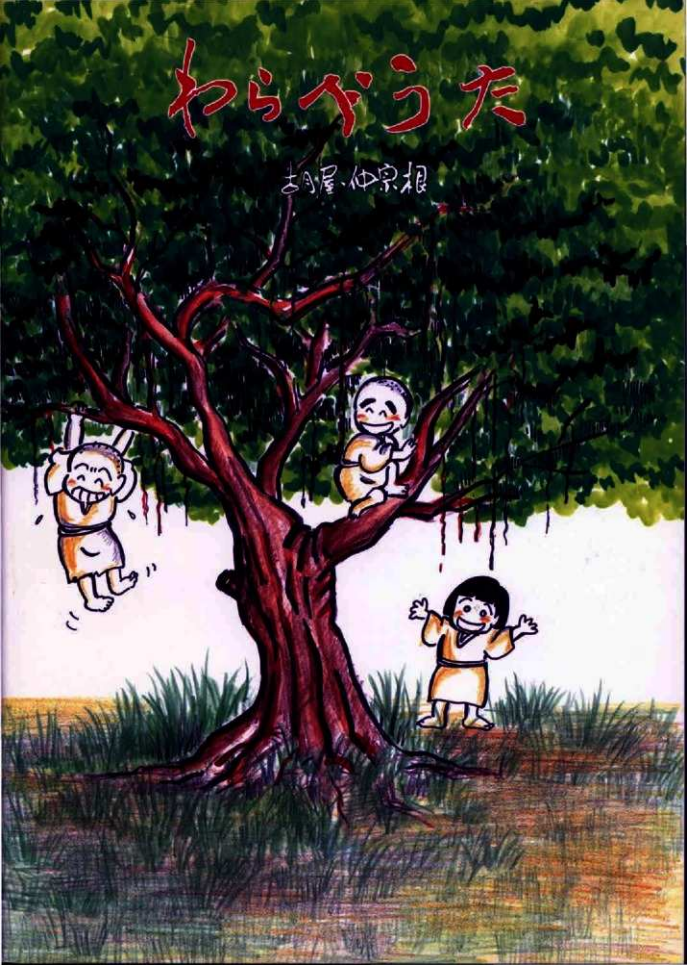


わらべうた

古川屋・仲宗根



あいさつ

そんなに昔のことでもないのに、現代の子供らは、暖かい背中で歌われる歌があることや、日常の遊びの中や行事の中で歌われていた歌があったことを知りません。

生活環境の変化により、歌を歌ってくれるおばあさんはいなくなり、子供同志のあそびも消え、今やパソコンのとりこになってしまった子供たち。

物質的な豊かさに引き替え失ったものの大きさを感ぜないわけにはゆきません。

こうした状況の中、沖縄市教育委員会におきましては1988年からわらべ歌調査を実施し収録保存を行っています。本書は字胡屋・仲宗根の成果を収録したものです。

この書が、あらゆる場所で利用され、郷土を知る手がかりとなり、やがて次代を担う人々を育てる力となっていけば幸いです。

最後に調査に快く参加して下さった歌唱者のみなさん、調査・編集にあられた比嘉悦子先生に厚くお礼を申し上げます。

沖縄市教育委員会
教育長 當眞哲雄

調査及び編集

- ・調査 比嘉悦子・宮城昭美・波平裕子
- ・採譜 比嘉悦子
- ・資料整理 宮城昭美・新屋良博・仲本千秋
- ・題字 吉浜靖起
- ・イラスト 長浜益美
- ・編集 比嘉悦子・宮城利旭・宮城昭美

はじめに

「胡屋・仲宗根のわらべうた」について

- (1) 「胡屋・仲宗根のわらべうた」は沖縄市字胡屋・仲宗根で採集されたわらべ歌の中から代表的な歌を30曲選んで掲載しました。
- (2) 歌の選定においては、旋律のより確実な歌、そして多くの人々、特に次代を担う子供たちに歌い継いで欲しい歌を優先して選択してあります。

調査について

- (1) 沖縄市の民謡調査は1988年、沖縄市教育委員会文化課の時より開始され、1995年3月現在も継続中です。
- (2) 胡屋・仲宗根のわらべうた調査は1994年2月から1995年2月にかけて計4回行われました。採集された歌は全部で84歌です。この場合、旋律の無い唱えや、歌詞のみの歌も含まれています。
- (3) 胡屋・仲宗根で採集されたわらべうたは、沖縄市全体で歌われていた歌と共通するものが多いのですが、他の地域に比べて動物の歌、からかい歌がより多く採集されました。

特に「海ぬとぅいぐわー」「うずらの歌」「かえるの歌」はこの地域独特の特色を見せています。また、ことば遊びの歌として採集された「てーはくぐわー」は、これまでのどの地域でも聞かれたことがなく、今回始めて採集された歌です。

目



《子守歌》

- ① 耳切り坊主の歌 1
- ② くまから くっぺー 3
- ③ いったーあんまーまーかいがー 4



《あやし歌》

- ④ いーゆぬみー たーくぬみー 5
- ⑤ イッシinger 5
- ⑥ 赤田首里殿内 6



《まりつき歌》

- ⑦ ていーちえー手登根 7
- ⑧ ていーたーみーゆー 8



《遊び歌》

- ⑨ イッポー カッポー 9
- ⑩ いっちく たっちく 10
- ⑪ いっとうがよー 11



《ことば遊びの歌》

- ⑫ がじゃんびらから 12
- ⑬ おならの歌 13
- ⑭ まちやくわーぬ たんめーさい 13

次



《動物の歌》

- | | | |
|----|-------------|----|
| 15 | うずらの歌 | 14 |
| 16 | 海ぬとぅいぐわー | 14 |
| 17 | いさとぅー | 15 |
| 18 | ほたるの歌 | 15 |
| 19 | 牛もーもー | 16 |
| 20 | かえるの歌 | 16 |
| 21 | とーやーまー | 17 |
| 22 | ありの歌 | 17 |
| 23 | ありとみみずの綱引き歌 | 18 |
| 24 | 牛・馬・山羊の歌 | 18 |



《からかい歌》

- | | | |
|----|-------------------|----|
| 25 | あまからちゅーる 美らじゅりぐわー | 19 |
| 26 | さんだーまーらー | 19 |
| 27 | ちゃんぐわーたんめー | 20 |
| 28 | 堂ぐわー屋敷ぬたんめー | 21 |
| 29 | 昔ぬいっちょーふりむんやー | 22 |



《教訓歌》

- | | | |
|-------------------|--------------|----|
| 30 | 親ぬいーしちかんわらべー | 23 |
| 凡例 | | 24 |
| 胡屋・仲宗根わらべ歌調査月別成果表 | | 25 |

① 耳切り坊主の歌

♩ = 92



うふむらうどんぬ かどなかいー みみちりほじが



たーちんど いくたいいくたい たーちがやー



みーちいゆたい たーちんど いらなんしーぐん



むーちんどー なーちぬわらべー みみグスグス



ハイヨーハイヨー なかんどー ハイヨ ハイヨー



なーかんど ーんみーがんみーがむいしかさー



じーやくかちやくし みゆんど じたわんさばわん



くますんどー なんじんくがにんさしみらや



とーんやまどん あつかさやー へいよーへいよー



なーかんど

うまむらうどん かくど
大村御殿ぬ角なかい 耳切り坊主が立っちょんどー

いんたいたいたい
幾人幾人立っちょがやー 三人四人立っちょんどー

いんたい しーど たり
鎌かん小こ刀てん持もっちょんどー 泣なちゆぬわらべー耳みみグスグス

へいよー へいよー 泣なかんどー

へいよー へいよー 泣なかんどー

んみーが んみーが 守まもりしかさー

じょーやく かちやく しみゆんどー

したぐわん 草履くわぐわん 履はますんどー 銀ぎんん金くわんんさしみらやー

唐からん大おほ和わん あつかさやー へいよー へいよー 泣なかんどー



② くまから くっぺー

♩ = 112

くまからくっぺーわーみち(わ) あまからあっぺー
 いやみち(わ)ー へいよーへいよーなーかんど

The musical score is written on two staves in 4/4 time. The melody is simple and repetitive, with lyrics written below the notes. The first staff contains the first two lines of lyrics, and the second staff contains the next two lines. The tempo is marked as quarter note = 112.

くまからくっぺー 我道ぐわー
 あまから あっぺー いやー道ぐわー
 へいよー へいよー 泣かんどー



③ いったーあんまーまーかいがー

♩ = 84

いったあんままいがー ベーベぬめ
 いたすやまいがー もーもぬめ
 くさーかいがー ベーベぬめ まさぐさや
 くさーかいがー もーもぬめ まさぐさや
 はーるぬ わかみんーな あんぐわーそーてい
 はーるぬ わかみんーな あんぐわーそーてい
 コッコ
 コッコ



いったーあんまーまーかいがー ベーベぬ^{ほお}め^{ほお}草刈^{ほお}いがー
 ベーベぬ^{ほお} まさ^{ほお}草^{ほお}や はーるぬ^{ほお} 若^{ほお}みんーな あんぐわーそーてい コッコイ
 いったーすーやーまーかいがー もーもぬ^{ほお}草刈^{ほお}いがー
 もーもぬ^{ほお}まさ^{ほお}草^{ほお}や はーるぬ^{ほお} 若^{ほお}みんーな あんぐわーそーてい コッコイ

④ いーゆぬみー たーくぬみー



いーゆぬみー たーくぬみー

うまから うままでい

クチュ クチュ クチュ



⑤ イッシーグー



イッシーグー はな た た ちゃー

やんぼらがいっしょんどー
山原船が入ちよんどー

あかしん薪ぬん 買んそーらに



⑥ 赤田首里殿内

♩ = 144

あかたすん ーどんちーくがにどる
 さぎでい うりがあかーがりば
 みるくゆがー ふ ヒヤープー
 ヒヤープー ミミンメー ミミンメー
 ヒジント ヒジント



赤田首里殿内 黄金燈灯下げてい

うーりが あーかーがーりーば 弥勒世界報

ヒヤープー ヒヤープー

ミミンメー ミミンメー

ヒジントー ヒジントー



⑦ てい—ちえ—手登根

♩ = 96

てい—ちえ—手登根
 二ちえ—棚原
 三ちえ—みどうしま
 四ちえ—ゆんしじ
 五ちえ—糸数
 六ちえ—盛島
 七ちえ—長浜
 八ちえ—山原
 九ぬち国頭
 国頭船から那覇たびさびたる
 那覇ぬ蚊じゃの—
 入喰え—じゅ—さぬ
 と—な—宿賃さ—ったるわい

てい—ちえ—手登根 二ちえ—棚原 三ちえ—みどうしま

四ちえ—ゆんしじ 五ちえ—糸数 六ちえ—盛島

七ちえ—長浜 八ちえ—山原 九ぬち国頭

国頭船から那覇たびさびたる 那覇ぬ蚊じゃの—

入喰え—じゅ—さぬ と—な—宿賃さ—ったるわい



⑧ てい—た—み—ゆ—



た — み ゆ — い ち む な な や — くくぬ ど
 た — み ゆ — い ち む な な や — くくぬ にしゆ
 た — み ゆ — い ち む な な や — くくぬ あつしゆ
 た — み ゆ — い ち む な な や — くくぬ ひやく

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 二十
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 三十
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 四十
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 五十
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 六十
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 七十
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 八十
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 九十
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 百



⑨ イッポー カッポー

♩ = 88

いっぽかっぽ んむね はや んぶち
だきぬ はや だかち すどちばぬ
な かぐ うむい みそー り

イッポー カッポー 羊^{ひつじ}ぬ葉や-ん-ぶち-

竹^{たけ}ぬ葉や 抱^{だか}か-ち- 蘇^{すい}鉄^{てつ}葉ぬ な-か-ぐ-

臆^{おそ}いみ-そーり-



⑩ いちく たちく

♩ = 80

いちく たちく じゅにが ちが ちくむく ちんぼらが
 ふるぬ くしんでい すりが へい

いちく たちく じゅーにが ちーがー
 ちくむく ちんぼーらーがー
 ふーるぬ^ん後んでい すーりがへい



⑪ いっとうがよー

♩ = 152

いっとうがよー にっとうがよー さんとうがよー
 しっとうがよー こっとうがよー むっとうがよー
 ななとうがよー はちとうがよー くっとうがよー
 じっとうがよー

いっとうがよー 二^に度がよー 三^{さん}度がよー 四^し度がよー 五^ご度がよー
 六^{ろく}度がよー 七^{しち}度がよー 八^{はち}度がよー 九^く度がよー 十^{じゅう}度がよー



⑫ がじゃんびらから

♩ 112

がじゃんびらから うりたいぬぶたい わたぬやりど
 ちぶるぬやりど いさいさかかていん のーちんとらさん
 めぬかまどんぼが のちとらちゃん うりがうんじ
 ぬし うくゆが くみぬいすにす さきぬいちごにこ

数ん坂から 降りたい登たい

腹ぬ痛みどー 頭ぬ痛みどー

医者医者かかていん 治ちんとらさん

前ぬかまどんぼが 治ちとらちゃん

うりが うんじゅー ぬーし うくゆが

米ぬ一升二升 酒ぬ一合二合



⑬ おならの歌

♩ = 126

ひ^ちゃ^る ひ^や - た^が ひ^ちゃ^が て^らぬ^みわ

う^わ ひ^ちゃ^る ひ

ひ^ちゃ^る屁^や 誰^がひ^ちゃ^が
 て^らぬ^み-わ^ー う^わ- ひ^ちゃ^る屁^や

⑭ まちやぐわーぬ たんめーさい

♩ = 126

ま^ちや^ぐぬ^たん^めさい^さき^ぐいち^ご

う^みそ^れ て^はく^ぐわ^んご^{せん}が^むん

店^{ぢや}ぐ^わぬ^ー た^んめ^ーさい 酒^さぐ^わいち^ご-合^ご
 売^うみ^そ-れ^ー 白^{しろ}砂^{すな}糖^{とう}ぐ^わん^ー 五^ご銭^{せん}が^むん

⑮ うずらの歌

♩ = 144

うずら うずら うずら うずら うずら

いらちけ なさわとらすさ

とらどーきーきー とらどーきーきー

うぐわーていーちえー いらーちよーけー

うさわ とらすさ

⑯ 海ぬとういぐわー

♩ = 144

うみぬとういぐわー くそまていから ちべぬぐらん

イ ムックイ ムックイ ムックイ

海ぬとういぐわー くそまていから ちべぬぐらん

イー ムックイ ムックイ ムックイ



⑪ いさとうー

♩ = 120

い さ と うー い さ と うー ぬ ぐ た が ま み ぬ は ど
 ぐ た る だ ん じ ゅ か だ ん じ ゅ か く す ひ っ ち ら

いさとうー いさとうー 何喰たがー 豆ぬ葉どー喰たーるー
 だんじゅか だんじゅか 糞ひっちら

⑫ ほたるの歌

♩ = 126

じ な じ な さ た や ぬ く し ん じ
 み じ ぬ で い う で い く よ じん じん

じーなー じーなー 砂糖屋ぬ 後んじ 氷飲でい
 落ちていていくーよー じん じん



⑱ 牛もーもー

♩ = 126

う し も も た かい ど た め み し

く ン て ち あ さ ば ん ゆ ば ん に じ ら し よ

牛もーもー田かいどー 田ぬ水え くんてーちー

朝飯夕飯 にじらしよー

⑳ かえるの歌

♩ = 152

う た な れ み う っ ち ん た る ぐ わ た ど し め

ガ ク ガ ク

歌習み うっちんたるぐわー たーどーしめ

ガークー ガークー



②① とーやーまー



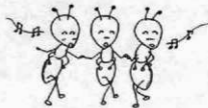
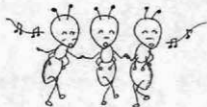
唐や何処やが 大和何処やが
遠ぐり 遠ぐりば 此処や沖繩



②② ありの歌



あいこー あいこー とーばたに兼久ぬ
馬殺ちえーくとう 友達呼でいくーよー



②③ ありとみみずの綱引き歌

♩ = 144

いぬもうてい てくうゆし たがやらんち
 んじていんちゃれ あいこぐわとみみじとち なひちポンポン

いぬもーうてい 太鼓打ちゆしゅー 誰がやらんち 出じていんちゃれー

あいこーぐわとち みみじとち 綱引ち ポン ポン



②④ 牛・馬・山羊の歌

♩ = 112

うしやはなふがち うまやむげ はきてい あわり
 どやひじやく くびゆくーんち サヨサ くびゆ
 くーんち

牛や鼻ふがちー 馬やむげはきていー 糞りどや 山羊ぐわー

首ゆくんちー サヨサー 首ゆくんちー

②5 あまからちゅーる 美らじゅりぐわー

♩=69



あまからちゅる ちゅら じゅりぐわー しんだんざから けうてい



ゆはひはーする うちね こぐちまがてい シヤ



ブシャーブ ヒジント ヒジント

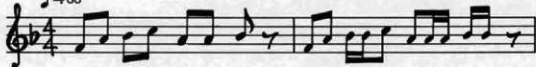
あまからちゅーる 美らじゅりぐわー 柵権木から けー落ていていー

養生ひーじょーするうちねー 腰ちん曲ていー

シーヤーブー シーヤーブー ヒージントー ヒージントー

②6 さんだーまーらー

♩=66



さんだまら きふは いっかんたばこ けふちやくと



なちぬゆろ ぬふつが くさぬはど ふつる

三郎まーらー木ふーじょー 一貫煙草けー吹ちやくと

翌日ぬ夜何吹つがー 桑木ぬ葉ど吹つーるー



②⑦ ちゃんぐわーたんめー

♩ = 104

ちゃんぐわ たんめ ちゃーしにん とが や わた
 や でい ちや ーくあらんが や けしにがた
 は か ー ま や が や かんじや やぬすば
 ちゃーし うくゆが や ゆったい がたみ

喜屋武ぐわーたんめー ちゃーし寝んとがやー 腹痛でい

強くあらんがやー けー死にがーたー

基何処やがやー 鍛冶屋ぬ剣

ちゃーし うくゆがやー 4人がたみー



②⑧ 堂ぐわ一屋敷ぬたんめ一

♩ = 104

どー(お) やしちぬ たんめ(さい) あたび(い) がや
 めん(そ) らに うむ(に) かむ(く) と(ま) ち(れ)
 い(ゃ) にん(き) ゆ(さ) ま(ち) り(よ) ま(た) ん(ま) た
 ん

堂ぐわ一屋敷ぬたんめ一さい 蛙取いがやめんそーらに

うむにーかむくとう 待っちょーれー

いゃにんきーゆさ 待っちょりよー

待たーん 待たーんー



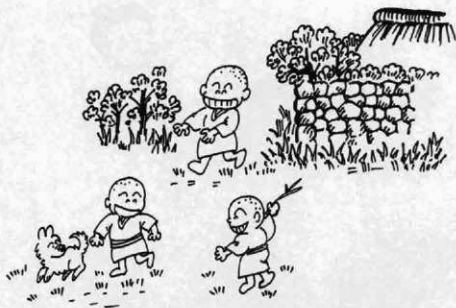
② 昔ぬいっちょーふりむんやー

♩ = 126

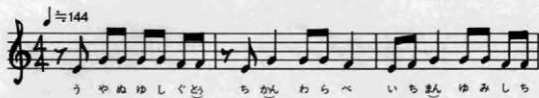
んかしぬいっちょー ぶりむんやー うまがしかしさん

ゆみしかち

昔ぬいっちょーふりむんやー 孫しかしさん 嫁しかしー



③〇 親ぬい—しちかんわらべ—



親ぬゆしぐと 聞かんわらべ

糸満嫁しち あんだがみ こん こん








凡 例

I 歌詞と表現について

- (1) 掲載されたわらべ歌は、子守り歌(3)、あやし歌(3)、まりつき歌(2)遊び歌(3)、ことば遊びの歌(3)、動物の歌(10)、からかい歌(5)、そして教訓歌(1)にわけて分類した。
- (2) 表題は歌い出しの句をとってつけたものが多いが、「耳切り坊主の歌」や、動物を対象にした歌などは、歌われる内容に添って編集者が表題をつけた。
- (3) 歌詞は漢字仮名まじり文で表記し、漢字には歌唱者のなまり音のままルビをふった。漢字が当てられる箇所には漢字を用いたが、無理な当て字は避けた。
- (4) はやしことばや擬音はカタカナで記した。
- (5) 歌詞の表記の中で、のぼして歌う箇所は、長短の区別はせずに長音記号「ー」(引音)で示した。

II 楽譜について

- (1) 楽譜は五線譜を基本としたが、沖縄独特な音程や歌唱法を表現するために特殊な記号を追加して用いた。
- (2) 採譜は採録時の歌唱者の歌をできる限り忠実な形で再現できるように配慮したが、調律は一般の人々、特に子供たちの歌いやすい高さに合わせて作譜した。
- (3) 民謡調査においては、歌唱者から歌にまつわる様々な生活状況を聞き取りながら歌を録音していくが、時には歌唱者が突然歌い出したり、歌の途中で中断し次に続く歌詞を思い起こしてまた歌い出すこともしばしばあった。そのような歌は、他の類似曲を検討の上、採譜者によって加筆し、補足した。
- (4) 調号に(♭)とある()のつけられたフラットは、実際にはその曲に出てこない音につけられるものであるが、基音を求めるめやすとして表記した。
- (5)  や  のように矢印のついた音は表記音より低めの音程で歌われる。
- (6)  や  の表記は音程の定まらない唱えや掛け声をあらわす。
- (7)  は上から下へ声を落としていく唱法を示す。

胡屋・仲宗根わらべ歌調査月日別成果表

番号	氏名	性	生年月日	出身地	住所	1994年(E16)		1995年(E17)		計	備考
						2/9	3/7	1/9	2/1		
1	島田 静子	女	T 7. 3. 10	山内	胡屋 2-7-7	7	1			8	民話「カツチーが一日早い奴」
2	島 千代	女	T 4. 11. 1	胡屋	胡屋 1-9-16	5	21		2	28	
3	高嶺 ツル	女	T 4. 4. 11	呉富士	胡屋 4-26-23	1			1	2	
4	仲宗根 澄	女	M 40. 5. 14	東愿納	胡屋 2-2-46	17	3			20	民話「南風屋外聞の話」
5	富里 美津	女	T 2. 6. 30	島袋	胡屋 1-11-18		2			2	
6	仲村 マサ	女	M 43. 4. 4	胡屋	仲宗根36-4		8	15		23	民話「仲宗根マブラーの話」/戸別訪問
7	玉城 カマ	女	M 45. 2. 5	大工廻	胡屋 2-2-7				1	1	
						30	35	15	4	84	



わらべうたの歌いか
たなど、気軽に相談し
て下さい。

次回のわらべうた集
をお楽しみに。

胡屋・仲宗根のわらべ歌

沖縄市文化財調査報告書第19集

平成7年3月10日印刷

平成7年3月31日発行

発行 沖縄市教育委員会

編集 沖縄市立郷土博物館

〒904 沖縄県沖縄市字上地235-3

TEL (098) 932-6882

印刷 光文堂印刷株式会社

沖縄県南風原町字兼城577番地

TEL (098) 889-1131



